



ご使用に際しての機器に関するお問い合わせは、ご使用地区の事業所または販売店をお願いします。

販売店名

ガスビルトインコンロ 取扱説明書

HR-A463-HR
HR-A463-HL

機器コード
11-052-02-00033
11-052-02-00032

ごあいさつ

このたびは、東京ガスのガスビルトインコンロをお買い上げいただきましてありがとうございます。

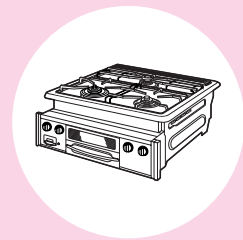
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。

この取扱説明書の24ページが保証書になっています。記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

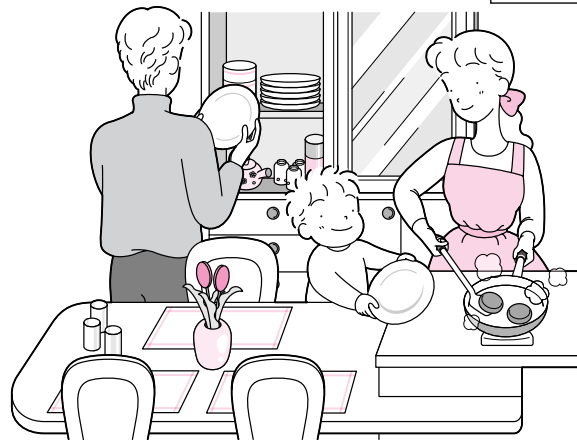
来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの東京ガスにお問い合わせください。



保証書付

型 式 名
C3G58KNRG
C3G58KNLG



取 扱 説 明 書	HR-A463-HL	C3G58KNLG	110520200032	13	01	01
	HR-A463-HR	C3G58KNRG	110520200033			

も く じ

も く じ ページ

特に注意していただきたいこと・・・1～5

1. 使用前に
- 周囲の防火措置（機器の設置）について・・・6
 - 各部のなまえ・・・・・・・・・・・・・・7
 - 使用前の準備・・・・・・・・・・・・・・8
 - ・ 乾電池の取り付けかた・・・・・・・・・・・・8



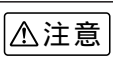
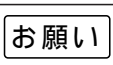
2. 使いかた
- 点火・消火のしかた(こんろ)・・・・・・・・9～10
 - 点火・消火のしかた(グリル)・・・・・・・・11～12
 - 安全機能・温度センサーについて・・・13～14
 - 中華鍋・鍋の選びかたについて・・・・・・15

3. 点検・お手入れ、他
- 点検・お手入れ・・・・・・・・・・・・16～17
 - ・ 点検・・・・・・・・・・・・・・16
 - ・ お手入れ・・・・・・・・・・・・・・16
 - ・ 点検・お手入れ後のセット方法・・・・・・17～18
 (バーナーキャップ・トップレート・グリル水入れ皿)
 - 故障かな？と思ったら・・・・・・19～20
 - アフターサービス・・・・・・・・・・・・21
 - 仕様・・・・・・・・・・・・・・22
 - 保証書・・・・・・・・・・・・・・24

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	危険・警告・注意以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者および購入者から機器を譲渡された人なども含みます。危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を薄めの文字で表記しています。(例：ガス漏れのおそれがあります。)

注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵 表 示	意 味
	特定しない一般的な危険・警告・注意
	高 温 注 意
	発 火 注 意
	特定しない一般的な禁止
	火 気 禁 止
	分 解 禁 止
	接 触 禁 止
	必 ず 行 う

特に注意していただきたいこと

⚠ 危険

ガス漏れ時の処置

- ① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
- ② 窓や戸を開け、ガスを外に出す。
- ③ 販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。

● 上記①～③の処置が終わるまで絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は使用しない。

火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

⚠ 警告

使用ガスについて

● 必ず銘板（電池ケースフタの裏）に表示しているガスの種類（ガスグループ）を使用する。

表示以外のガスで使用する**と爆発点火や異常燃焼などの原因になります。**

● 転居された場合にも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致しているか確認してください。

銘板 (例) 都市ガス用 13Aの場合

(型式名) 都市ガス用 13A

製造年月

製造年月・製造No を表示しています。

部分を確認してください。

わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。

確認

異常時・緊急時の処置

● 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は、下記の手順に従ってあわてずみやかに処置し、すぐにお買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。

- ① パナーの火を消す。
(器具栓つまみを「止の位置」にする。)
- ② 機器のガス栓を閉じる。

火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。

● 再使用するときは、9ページからの『使いかた』の手順に従って操作する。わからない場合はお買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。

閉じる

特に注意していただきたいこと

⚠ 警告

火災の予防

- 火をつけたまま離れたり外出・就寝しない。特にグリル使用中は注意してください。魚が燃え上がることがあります。**火災のおそれがあります。**
- 機器の上や周囲に燃えやすいもの（カーテン・新聞紙・ティッシュ・ふきんなど）を近づけない。**火災のおそれがあります。**
- グリル排気口の上にふきんなどをのせたりふさいだりしない。**火災のおそれや不完全燃焼の原因になります。**
- 機器の周囲でスプレー、ベンジン、ガソリンなど引火のおそれがあるものを使用しない。また、周囲にスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かない。引火して火災になるおそれや熱でスプレー缶内の圧力が上がり爆発するおそれがあります。

周囲の防火措置（機器の設置）について

- 機器の設置・移転および付帯工事は、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置する。
- 設置された機器が、壁などの可燃物との離隔距離を確保しているか確認する。
⇒ P6を参照してください。
防熱板の取り付けについては、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに相談してください。**壁などが異常に過熱され、発火・火災のおそれや思わぬ事故の原因になります。**
- 機器を設置した後の機器周囲の改装（吊り戸棚を付けるなど）については、お買い求めの販売店に相談する。
設置基準上問題になる場合があります、火災になるおそれがあります。

分解禁止

● 修理技術者以外の人は絶対に機器を分解したり、修理・改造を行わない。

異常作動し、けがや思わぬ事故の原因になります。

分解禁止

ガス事故防止

● 使用時の点火および使用後の消火を必ず確かめ、外出や就寝の際は、機器のガス栓を閉じる。また、使用中も正常に燃焼していることを確かめる。

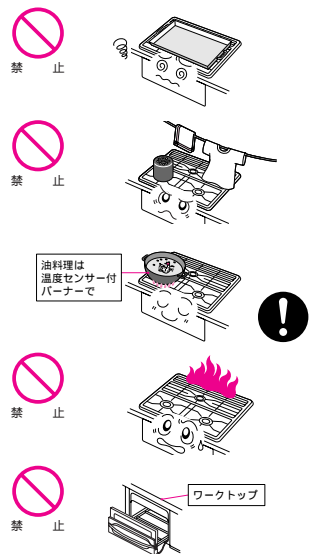
火災のおそれや思わぬ事故の原因になります。

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

使用上の注意

- こんろをおおうような鉄板や直径36cm以上のなべは使用しない。
 不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱の原因になります。
- 衣類の乾燥や炭火をおこすなど調理以外の用途には使用しない。
 火災のおそれや機器損傷の原因になります。
- 油料理は必ず温度センサー付バーナーを使用する。
 (温度センサーが付いていないバーナーは、天ぷら油過熱防止機能がはたらきません。)
 火災のおそれがあります。
- 魚などの焼きすぎに注意する。(魚などが燃え、グリル排気口から炎が出る場合があります。)
 火災のおそれがあります。
- グリル使用中は、グリルとびらを開けたままにしない。
 本体上部が変色したり、ワークトップをこがすおそれがあります。
- グリル内に食品屑、油屑、布などがあると発火するため、使用前に必ず点検する。
 火災のおそれがあります。
- グリルを使用するときは、グリル水入れ皿に必ず約300mlの水を入れる。
 また、続けて使用するときはその都度必ず水を補給する。ただし、水の表面に脂が多くなったら水を入れ替える。
 火災のおそれや異常過熱により機器焼損の原因になります。
- グリル水入れ皿に水以外のもの(アルミはくや市販のグリル石など)を入れて使用しない。
 火災のおそれや機器焼損の原因になります。
- グリル使用中および使用直後は、グリルとびらガラスに水をかけない。
 グリルとびらガラスが割れてけがをするおそれがあります。
- グリルとびらに重いものを乗せたり、強い力を加えたり、物をぶつけたりしない。
 グリルとびらがはずれ、けがのおそれや機器損傷の原因になります。
- トッププレートに水を入れて使用したり、機器内に水をこぼしたりしない。
 機器の故障の原因になります。

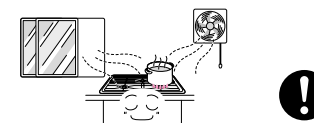


特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

ガス事故防止

- 使用中は窓を開けたり、換気扇を回すなど必ず換気を行う。
 他の燃焼機器と同時に使用した場合など不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。



やけどに注意

- 点火操作時や使用中は、バーナー付近に顔や手および衣類などを近づけない。
 衣類が燃えたり、やけどのおそれがあります。
- 使用中、使用直後は操作部以外はさわらない。また、なべやフライパンの取っ手などが熱くなっている場合があるため注意する。
 やけどのおそれがあります。
- グリル使用中は、グリル排気口から高温の排気熱が出るため、手や顔を近づけない。
 やけどのおそれがあります。
- 魚を取り出すときなど、グリルとびらガラス部にさわらない。また、グリル水入れ皿を引き出すときは、グリルとびら取っ手以外はさわらない。
 やけどのおそれがあります。
- グリル使用中は、なべやフライパンの取っ手をグリル排気口に向けて使用しない。また、強火で使用する場合、なべやフライパンなどの取っ手に注意して火力を調節する。
 やけどのおそれや取っ手の破損の原因になります。
- グリル使用中および使用直後は、グリル水入れ皿の水が高温になっているため、グリル水入れ皿を持ち運びする際は水がこぼれないよう注意する。
 やけどのおそれがあります。
- みそ汁を温めなおすときは火力を弱めにし、よくかき混ぜながら温めなおしてください。
 強火で急に温めなおすと鍋底に沈んだみそが突然噴きあがり、鍋がはねあがってやけどをするおそれがあります。
 《特にだし入り豆みそ(赤みそなど)のときは注意してください。》



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

日常の点検・お手入れについて

- お手入れ時は手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行う。また、15～17ページの『点検・お手入れ』で指定している部品以外はさわらない。
やけどやけがのおそれがあります。
- パーナーキャップを水洗いした後は、水気をよく切ってからセットする。
異常燃焼や機器の故障の原因になります。

補助具について

- この機器専用の付属品あるいは指定のもの以外は使用しない。
- アルミはく裂する受け皿(市販品)は使用しない。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱の原因になります。

子供に注意

- 幼児や小さな子供にさわらせないように注意する。
思わぬ事故の原因になります。

🙏 お願い

お手入れについて

- パーナーに煮こぼれがかかったときは、こまめにお手入れを行ってください。
煮こぼれがかかったまま放置すると炎口が詰まり、機器内部で燃えることにより機器焼損のおそれがあります。

長期間使用しない場合

- 機器のガス栓を閉じてください。(長時間使用しない場合も機器のガス栓を閉じてください。)
- 各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
- 乾電池を電池ケースより抜いてください。
乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。

機器の設置について

- 冷暖房装置の吹き出し口の近くや強い風が吹き込む場所には設置しないでください。
火が途中で消えたり不完全燃焼の原因になります。

魚などを裏返すときグリル水入れ皿を約1分以上引き出したままにする場合は一旦火を消してください。センサーがはたらいて消火する場合があります。

トッププレートの設置について

- トッププレートは確実に取り付けてください。
不完全燃焼の原因になります。

乾電池について

- 乾電池の⊕⊖方向を間違えないでください。
点火できなくなります。
- 乾電池は古いものと新しいものを混ぜて使用しないでください。
乾電池の破裂や液漏れの原因になります。

この機器は一般家庭用です。

- 業務用のような使いかたをすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

その他

- フードの清掃の際などこんろの上には絶対に乗らないでください。

1 使用前に 周囲の防火措置(機器の設置)について

機器の設置・移転および付帯工事は、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに依頼し安全な位置に正しく設置してください。

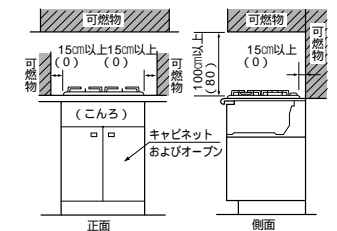
防火上の離隔距離

機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することが出来る場所に設置してください。

⚠ 注意

- 周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する。
火災のおそれがあります。

機器の周囲の可燃材(可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む)とは、右の離隔距離を確保してください。
()内は、周囲の壁が不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。



上記離隔距離がとれない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。

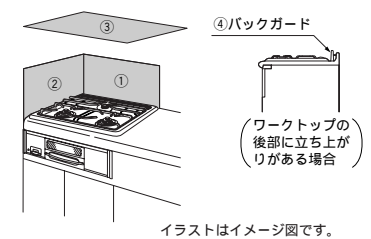
⚠ 注意

- 防熱板(別売品)は、必ず指定のものを使用する。
- 防熱板に同こんざれている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
火災のおそれがあります。

- 防熱板は4種類用意しています。
- 用途に合った防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。
取り付け方法は別売の防熱板に同こんざれている「取付説明書」をご覧ください。

	コード番号	高さ(mm)	幅(mm)
①	LP0105	350	600
②	LP0106	350	535
③	LP0107	550	900
④	DP0101	90	600

DP0101はワークトップ後部の立ち上がり用(ホーロー製0.6mm)



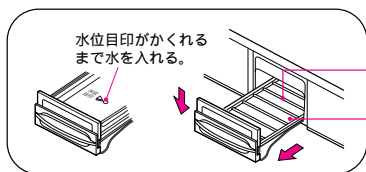
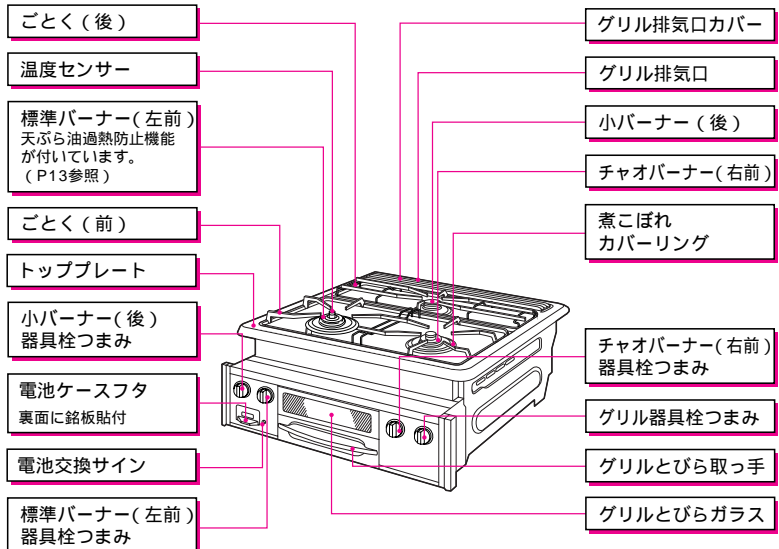
イラストはイメージ図です。

防熱板のお求めは、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガス(別紙事業所一覧)に連絡してください。

1 使用前に 各部のなまえ

各部のなまえ

図はHR-A463-HRタイプです。HR-A463-HLタイプは標準バーナー（温度センサー付）とチャオバーナーおよび器具栓つまみが左右反対になります。



【グリルとびら部】

グリル焼網

グリル水入れ皿

グリル使用時には必ず約300mlの水を入れてください。

特長

標準バーナー		グリルバーナー	グリルとびらガラス
天ぷら油 過熱防止機能	こんろ 消し忘れタイマー	グリル 水切れセンサー	
油の温度が高くなりすぎると自動消火します。 (P13参照)	点火後約2時間で自動消火します。 (P13参照)	グリル水入れ皿の水が少なくなりますと自動消火します。 (P14参照)	グリルを引き出すと下にさがり、魚などが取り出しやすくなっています。

1 使用前に 使用前の準備

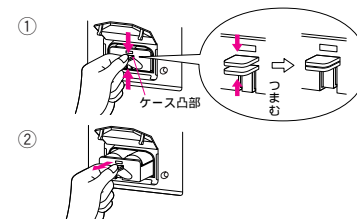
機器のガス栓を全開にする

乾電池の取り付けかた
乾電池は単1を2個使用します。

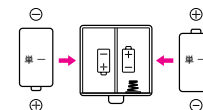
1. 電池ケースフタ下部の凸部を指でひっかけて矢印の方向に開ける。



2. [電池ケースの取りはずしかた]
①電池ケース前面にある上下のケース凸部をつまむ。
②電池ケースを手前側に引き出す。



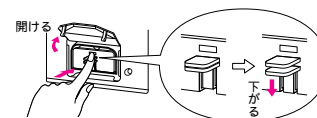
3. [乾電池の取り付けかた]
乾電池の⊕⊖を確かめて図のように矢印方向に従って電池ケースに組み込む。



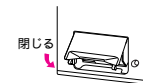
お願い

- 乾電池の⊕⊖方向は間違えないでください。
点火できなくなります。

4. [電池ケースの取り付けかた]
電池ケースを一旦挿入して最後にケース凸部の上側を押す。
電池ケースを完全に押し込んだときにカチッと音がし、下のケース凸部が下がってロックされます。



5. フタを元どおりに閉じる。



お願い

- フタは約130度（角度）程開きます。それ以上は無理に開かないでください。
フタが破損する場合があります。

使用前に

取扱説明書

HR-A463-HL C3G58KNLG
HR-A463-HR C3G58KNRG

110520200032
110520200033

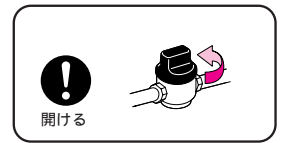
130601

8

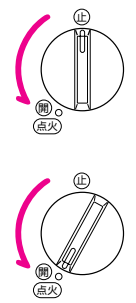
2 使いかた 点火・消火のしかた(こんろ)

点火・消火のしかた(こんろ)

1. 点火前に
消火の状態では機器のガス栓を全開にしてください。



2. 点 火
器具栓つまみを押し、(点火)の位置まで回す。
●パチパチとスパークして点火します。
●着火を確認してから手を離してください。



- 点火してから数秒間そのままの位置で手を離さないください。
- 手を離すと器具栓つまみ(開)の位置にもどります。
- 鍋などの水滴はふき取ってください。
- 標準バーナーは約2時間連続使用すると安全のため自動消火します。(こんろ消し忘れタイマー)

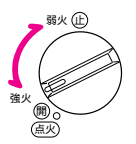
ワンポイントアドバイス
点火の際は、ごとくに鍋やかんをのせると点火がよりスムーズです。

△注意

- 使用するバーナーの器具栓つまみを間違えて使用しない。
別のバーナーが点火し、火災のおそれがあります。
- 点火時バーナーに点火したことを確認する。
火災のおそれや思わぬ事故の原因になります。

●配管内に空気が入っていて点火しにくい場合があります。配管内の空気が抜けるまで点火操作を繰り返してください。

3. 火力調節
器具栓つまみを矢印方向に回して調節する。

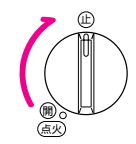


- 器具栓つまみを(開)方向へまわすと火力は強く(止)方向へまわすと火力は弱くなります。
- 炎を見ながら調理に適した位置に加減してください。
- 強火から弱火にするときは、器具栓つまみをゆっくり回してください。
- 火力を絞り過ぎますと、立消え安全装置がはたらいて消火することがありますが、故障ではありません。

△注意

- 強火で使用する場合、鍋やフライパンなどの取っ手に注意して火力を調節する。
やけどのおそれや取っ手部の損傷の原因になります。

4. 消 火
器具栓つまみを(止)の位置まで回す。



△注意

- 使用後の消火を必ず確かめ、機器のガス栓を閉じる。
火災のおそれや思わぬ事故の原因になります。



標準バーナー(温度センサー付)を使用するときのコツ

予熱する場合
●目玉焼きなどの料理をするときは、1分位予熱をしてください。
●予熱時間が長すぎたり、短すぎたりすると安全機能がはたらいて消火する場合があります。



カレー、ジャムなどの加熱をする場合
●トロミのある料理は、沸騰するまで鍋を動かさないください。
●水分の少ないものは水を加えてください。
●火力は中火位を使ってください。
●沸騰後は中身の温度にムラができないよう時々まぜてください。

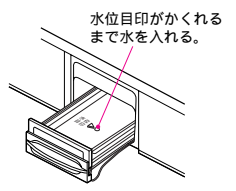


きんぴらごぼう・インスタント焼きそばなどをする場合
●水分が蒸発しても、加熱を続ける料理の場合、途中で消火機能がはたらいて消火することがあります。このようなときは再点火してください。

2 使いかた 点火・消火のしかた(グリル)

初めてグリルを使うときは、必ずグリル水入れ皿に約300ml(約コップ1杯半)の水を入れ、15分程度の中から焼きをしてください。(グリル庫内の油を焼ききるため、煙やおいが出ても異常ではありません。)

1. 点火前に



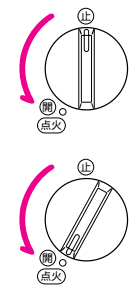
- グリルを使うときは必ずグリル水入れ皿に約300ml(約コップ1杯半)の水を入れてください。
- 水を入れる量の目安は、グリル水入れ皿を水平にし、中央部にある凸部の先端まで水を入れてください。

水を入れないで使用しますと、調理途中で自動消火します。(水切れセンサー)

2. 点火

器具栓つまみを押し、**点火**の位置まで回す。

- パチパチとスパークして点火します。
- 着火を確認してから手を離してください。

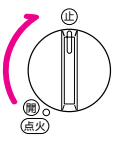


注意

- 使用するバーナーの器具栓つまみを間違えて使用しない。**別のバーナーが点火し、火災のおそれがあります。**
- 点火してから数秒間そのままの位置で手を離さないでください。
- 手を離すと器具栓つまみは**開**の位置にもどります。
- 配管内に空気が入っていて点火しにくい場合があります。配管内の空気が抜けるまで点火操作を繰り返してください。
- グリルとこんろを同時に使用すると炎が赤色になることがあります。異常ではありません。
- グリルは、火力調節しないでください。

3. 消火

器具栓つまみを**止**の位置まで回す。



注意

- 使用後の消火を必ず確かめ、機器のガス栓を閉じる。**火災のおそれや思わぬ事故の原因になります。**



閉じる

グリル使用中、使用直後は・・・

警告

- グリル排気口をふさがない。**火災のおそれや不完全燃焼の原因になります。**

注意

- グリルを使用するときは、グリル水入れ皿に必ず約300mlの水を入れる。
- 水以外のものを入れて使用しない。
- 安全のため、使用するたびに水を入れ替える。
- 魚などの焼きすぎに注意する。
- 続けて使用するとき、その都度、必ず水を補給する。ただし、水の表面に脂が多くなったら水を入れ替える。**火災のおそれや機器焼損の原因になります。**

- なべの取っ手などをグリル排気口へ向けない。
- グリルとびら付近はさわらない。
- グリルとびらガラスに水をかけない。
- 使用中、使用直後の魚の出し入れや水の補給については、グリル水入れ皿などが熱くなっていますので、機器から取りはずさずに行ってください。**やけどやけがおよび機器焼損の原因になります。**
- 使用中、グリルとびらを開けたままにしない。**本体上部が変色したり、ワークトップをこがすおそれがあります。**

点火・消火のしかた(グリル)

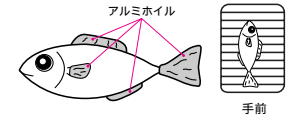
コツ

予熱

- 表面のこげやすいもの(つけ焼き、照り焼き、味噌漬けなど)や火の通りの悪い魚などは、予熱しないでそのまま焼いてください。
- 上記以外の魚や肉は、点火後約3分予熱し、温度があがってから材料を入れてください。

焼きかたのコツ

- 魚を美しく焼くには尾が手前にくるように焼いてください。
- こげやすい尾やひれなどには厚めに塩をふりかけるかアルミホイルでおおって焼いてください。

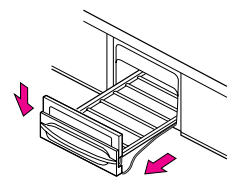


魚などを裏返すときグリル水入れ皿を約1分以上引き出したままにする場合は一旦火を消してください。センサーがはたらいて消火する場合があります。

グリル水入れ皿の取り出しかたと取り付けかた

取り出しかた

- グリルとびらをゆっくりと手前に止まるまで引き出し、少し持ち上げて、再度引き出してください。グリル水入れ皿の水をこぼさないように注意してください。
- グリル水入れ皿は、グリルとびら取っ手と一体となっています。
- グリル水入れ皿は、ストッパーがついていますので、手前に引き出すと止まります。
- グリルとびらを引き出すと、グリルとびらガラスが下がります。

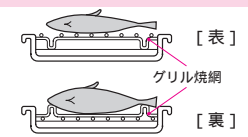


取り付けかた

- グリルケースの底部へグリル水入れ皿を入れ、奥に当たるまできっちりと入れてください。

グリル焼網の高さ調整

- グリル焼網の表・裏で高さを調節します。
 「表」 焼網が高くなります。
 「裏」 焼網が低くなります。
- 焼き物はグリル焼網に合った大きさに切り、グリル焼網のせて焼いてください。

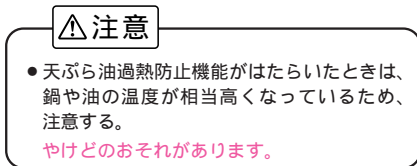
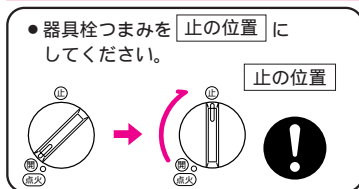


2 使いかた 安全機能・温度センサーについて

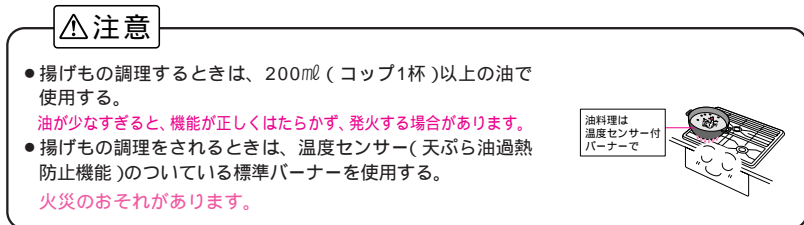
安全機能のはたらき

バーナー	安全機能のはたらき
全バーナー	立消え安全装置 風などで火が消えたら自動的にガスを止め消火します。 (標準バーナー・グリルバーナーは、ブザー音(ピー)でお知らせします。)
標準バーナー (温度センサー付)	天ぷら油過熱防止 油の温度が高くなりすぎると自動的にガスを止め消火します。 こんろ消し忘れタイマー 点火後約2時間経過すると自動的にガスを止め消火します。
グリル	グリル水切れセンサー 空焼きなどによりグリル庫内の温度が異常に上がると自動的にガスを止め消火します。

安全機能がはたらいたとき



揚げ物の調理時の注意



- 標準バーナーは、器具栓つまみの近くに「揚げもの用」と表示してあります。
- 鍋の種類や油の量によって自動消火したときの油の温度は異なります。

揚げもの用

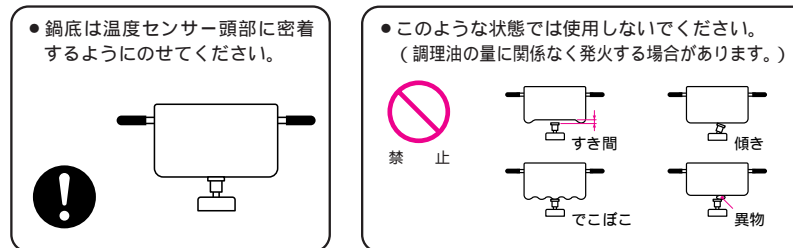
温度センサーの注意

- 強いショックを加えたり、キズをつけたりしないでください。
- センサー部はいつも清潔にしてください。センサー部に汁やゴミが付着したときには、水に布を浸し、固くしぼってからふきとってください。また、やかんや鍋などの底もきれいにしてください。温度センサーが作動しない場合があります。

安全機能・温度センサーについて



正しい鍋ののせかた



- 鍋の重さは、温度センサーの密着を確実にするため300g以上(調理物の重さを含む)が必要です。特に片手鍋などは、不安定になりやすいので注意してください。

こんな調理はチャオバーナーでしてください。

- 標準バーナーは温度センサーが約250℃になると消火するようになっています。下記のような調理は途中消火することがありますので、チャオバーナーを使ってください。
 - ・ウインナー炒めなど、から焼きに近い料理
 - ・焼網を使った料理(めざし・するめをあぶるなど)
 - ・いりもの料理(ごま・大豆など)
 - ・焼きもの料理(お好み焼き・たこ焼きなど)

グリル水切れセンサーについて

- 次のようなときにグリル水切れセンサーがはたらいて自動的に消火します。
 - ・グリル水入れ皿に水を入れずに使用した場合
 - ・水の量が少なかった場合
 - ・使用中、時間を忘れて焼きすぎた場合(水の量が少なくなってきた場合)
 - ・魚などを裏返すときグリル水入れ皿を約1分以上引き出したままにする場合
- グリル水切れセンサーがはたらいた場合
 - ・グリル庫内の温度がある程度下がるまで再使用できない機能になっていますので、**グリル水入れ皿に水を入れてしばらく(約2分)まってから点火操作をしてください。**
 - ・グリル水切れセンサーがはたらいているときは点火操作はできますが、手を離すと火が消えますので注意してください。

取扱説明書
HR-A463-HL C3G58KNLG
HR-A463-HR C3G58KNRG
110520200032
110520200033
130901

2 使いかた 中華鍋・鍋の選びかたについて








《標準バーナー（温度センサー付）に適した中華鍋・鍋の選びかたについて》

中華鍋について

- 鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
- 中華鍋の種類や使いかたによっては鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらかません。このようなときは、別売の中華鍋用補助ごとくを使用すると鍋が安定して使いやすくなります。中華鍋によっては別売の中華鍋用補助ごとくを使用しても、温度センサーに密着しないものがありますので注意してください。

鍋の選びかた


- 鍋底が温度センサーに密着しない鍋は使用しないでください。鍋底が凹状になっているものを使用すると、温度センサーが正しくはたらかないことがあります。
- 油の量が200ml以下で使用した場合、発火することがあります。

料理区分	煮ものなどの一般料理	天ぷらフライなどの揚げもの料理
鍋などの種類		
アルミ製の鍋・文化鍋 		(油の量: 200ml以上)
フライパン 	×	(油の量: 200ml以上)
ホーロー・打ち出し・ステンレス(厚手)の鍋 		(油の量: 200ml以上)
ステンレス(薄手: 鍋底厚み2mm未満)の鍋 		×
無水鍋(ステンレス厚手鍋) 		(油の量: 200ml以上)
鉄製の鍋・中華鍋 		(油の量: 200ml以上)
土鍋・圧力鍋・耐熱ガラス容器 		×


: 適しています。 × : 適していません。(温度を正しく検知しない場合があります。)

3 点検・お手入れ、他 点検・お手入れ

点検

点検項目	点検のしかた	処置
乾電池は？	標準バーナー(温度センサー付) 使用時に電池交換サインが点滅していませんか。 ● 使用時に電池が消耗してきたら、電池交換サイン(ランプ)が点滅します。さらに電池が消耗してくると電池交換サインが点灯となり消火し、また使用できません。 チャオバーナー・小バーナー・グリルバーナー ● 電池が消耗してきたら「パチパチ」というスパークの音が1秒間に約3回ぐらいの遅さになります。	新しい乾電池と交換してください。 (8ページ参照) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">乾電池の寿命はおよそ1年が目安です。</div>
各用品の取り付けは？	トッププレート・バーナーキャップ・煮こぼれカバーリング・ごとく・グリル排気口カバーなど正しく取り付けられていますか。	正しく取り付けてください。 (17ページ参照)
バーナーキャップは？(こんろ部)	炎口が目づまりしていませんか。 傾いたり浮いたりしていませんか。 	お手入れのしかたをご覧ください。 (下記参照)
グリル水入れ皿は？	脂がたまっていますか。	
温度センサーは？	センサー頭部が汚れたり、キズはありませんか。	

お手入れ

お手入れ箇所	お手入れのしかた
● トッププレート ● ごとく ● グリル排気口カバー ● グリル水入れ皿 ● 煮こぼれカバーリング ● グリル焼網	台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふきとった後、乾いた布で水気をふき取ってください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">汚れが落ちにくいときは、台所用中性洗剤で洗った後、乾いた布で十分水気をふき取ってください。</div> グリル水入れ皿はグリルとびら取手を取りはずすと掃除がしやすくなります。 (17ページ参照)
● 機器表面 ● 操作部 ● グリルとびらガラス ● グリルとびら取手	乾いた布でよくふいてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。その後、乾いた布で水気をふき取ってください。</div>
● バーナーキャップ	● お手入れをされるときは必ず柔らかな歯ブラシまたはスポンジを使ってください。特に溝部分を掃除してください。 ● 煮こぼれたときは、必ず手入れしてください。 ● 万一、黒色のがはがれても使用上問題はありません。 
● 温度センサー	● 温度センサーの頭部はかたくしぼった布で汚れをふき取ってください。温度センサーのお手入れのとき、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

点検・お手入れ、他

取扱説明書

HR-A463-HL C3G58KNLG
HR-A463-HR C3G58KNRG

110520200032
110520200033

13 10 01

3 点検・お手入れ、他 点検・お手入れ

点検・お手入れ後のセット方法

バーナーキャップの取り付けかた

●図のように正しくセットしてください。

- ①トッププレートの上に煮こぼれカバーリングをのせてください。
- ②チャオ・標準バーナーキャップは 部の下側にある凸部と丸穴部をはめ込み確実にセットしてください。
小バーナーキャップはキャップとバーナー本体の 部の位置を合わせ、キャップの凸部がバーナー本体の凹部に合うように確実にセットしてください。
バーナーキャップが傾いたり浮いたりしていないことを確認してください。
- ③ごとく・グリル排気口カバーをのせてください。
(ごとくは前後で異なります。大きい方が前、小さい方が後ろです。)

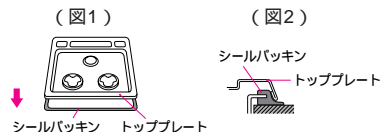


お願い

- バーナーキャップを正しく取り付けず、バーナーキャップを正しくセットしなかった場合、点火しなかったり炎が不均一になり、異常燃焼や部品が焼損するおそれがあります。

トッププレート

トッププレートを取りはずしてお手入れされた場合は、必ず図2のようにトッププレートをシールパッキンにかぶさるように置いてください。



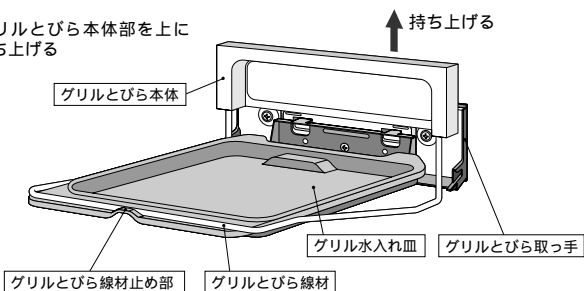
機器のガス栓を閉じ機器が冷えてから行ってください。
機がをしなよう手袋などをして行ってください。

点検・お手入れ

■グリルとびら本体(ガラス部)の取りはずしと取り付け

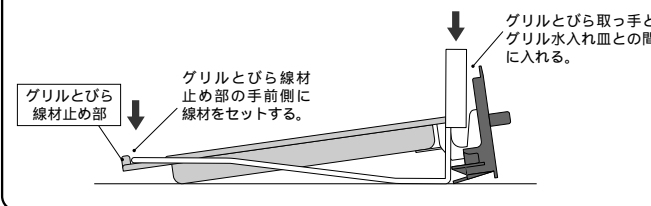
取りはずしかた

- グリルとびら本体部を上を持ち上げる



取り付けかた

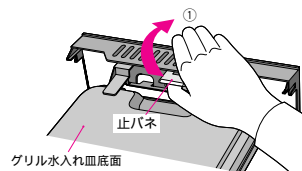
- 『取りはずしかた』と逆の手順で下図のように取り付ける。



■グリルとびら取っ手の取りはずしと取り付け

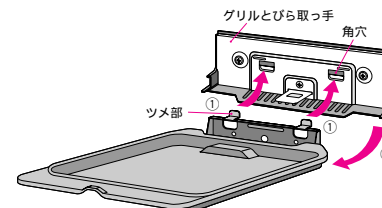
取りはずしかた

グリル水入れ皿を裏返して持ち、止パネを矢印①の方向へ倒すようにして止パネをはずす。



取り付けかた

グリル水入れ皿ツメ部を角穴にはめこみ(矢印①)、「カチッ」と音がするまでグリルとびら取っ手を矢印②の方向へ押さえる。



点検・お手入れ、他






3 点検・お手入れ、他 故障かな?と思ったら

- 故障かな?と思ったらただちに使うのをやめてください。
- 故障かな?と思ってもよく調べると故障でない場合があります。まず、次のことをお調べください。

こんなとき	原因	参照ページ
点火しない。 点火しにくい。 火が消える。	<ul style="list-style-type: none"> ●機器のガス栓が全開になっていますか? ●乾電池が消耗していませんか? ●バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていませんか? ●バーナーキャップの炎口がつまっていませんか? ●点火装置・立消え安全装置が汚れたり、ぬれていませんか? ●器具栓つまみを(点火)の位置までいっぱい回していますか?(数秒間(点火)の位置にしていたか?) ●グリル水切れセンサーがはたらいていませんか? 	8 16 16 16 20 9・11 14
ガスのにおいがする。 いやなにおいがする。	<p>ただちに使うのをやめ、機器のガス栓を閉じてから原因を調べてください。</p> <p>警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などはありませんか? 火災のおそれがあります。 ●煮こぼれや風などで火が消えていませんか? 	2 20
消火しやすい。 使用中火が消える。	<ul style="list-style-type: none"> ●バーナーに風が当たっていませんか? ●煮こぼれがバーナーにかかっていますか? ●立消え安全装置に煮こぼれや水滴がついていませんか? 	20 20 20
	<p><標準バーナー(温度センサー付)側></p> <ul style="list-style-type: none"> ●鍋が焦げたり、油の温度が高くなっていませんか? ●温度センサーが汚れていませんか? ●鍋を正しくのせていますか? ●鍋底が凸凹していませんか? ●火をつけてから約2時間以上たっていますか? <p><グリルバーナー側>(グリル水切れセンサーの作動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グリル水入れ皿に水を入れてありますか(約300ml)? ●グリル水入れ皿の水が少なくなっていますか? ●グリル水入れ皿を引き出したままにしていませんか(約1分以上)? 	13 16 14 14 13 14 14 14
黄炎で燃える。 炎が安定しない。 異常音をたてて燃える。	<ul style="list-style-type: none"> ●バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていませんか? ●バーナーキャップ炎口がつまっていませんか? 	16 16

3 点検・お手入れ、他 故障かな?と思ったら

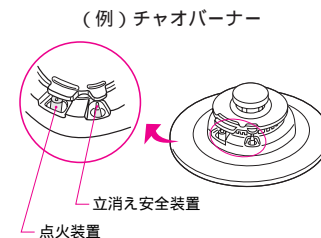
- 次のような現象は故障ではありません。

●はじめてグリルを使用するとき、煙やにおいが出る。		部品についている油が焼けるためです。11ページをご覧ください。から焼きをしてください。
●パチパチとすべての点火装置で音がする。		同時点火方式となっていますので、1ヶ所の点火操作ですべての装置が「パチパチ」とスパークします。
●点火後や消火後にキシミ音でる。		加熱や冷却される際に金属が膨張・収縮して起こる音です。
●こんろとグリルを同時に使うと炎が赤色になる。		焼き物の塩分(塩化ナトリウム)や水中に溶解しているカルシウムによるものです。
●消火時「ボン」と音がする。		火が消えたときの音で異常ではありません。

- 以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガス(別紙事業所一覧)に連絡してください。不完全な処置や異常がある状態で使い続けると事故のもとになります。

立消え安全装置について

- 風や煮こぼれで消火した場合は立消え安全装置が自動的にガスを止めます。(完全にガスが止まるまで数秒かかります。)
- 再び点火されるときは、窓や戸を開けて換気をし、ガスのにおいが完全に無くなってから点火操作をしてください。
- 立消え安全装置や点火装置に煮こぼれや水滴がついたときはきれいにふき取ってください。また、点火装置や立消え安全装置に硬いものをぶつけないでください。(点火不良の原因になります。)



3 点検・お手入れ、他 アフターサービス

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 19～20ページの「故障かな?と思ったら」を見て、もう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないで買い求めの販売店、ガス事業者または、もよりの東京ガス(別紙事業所一覧)に連絡してください。なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名	ガスビルトインコンロ		
2. 商品コード	HR-A463-HR	機器コード	11-052-02-00033
	HR-A463-HL		11-052-02-00032
3. 故障または異常の内容	(できるだけ詳しく)		
4. お客様名・ご住所・電話番号・道順	(できるだけ詳しく)		

転居される場合

ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証書

取扱説明書の24ページが保証書になっています。

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガス(別紙事業所一覧)に相談してください。修理によって性能が維持できる場合は修理(有料)いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用部品の最低保有期間は、当製品の製造打ち切り後5年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますので、ご了承ください。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3 点検・お手入れ、他 仕様

仕様

品名		ガスビルトインコンロ	
品名コード	HR-A463-HR	HR-A463-HL	
型式名	C3G58KNRG	C3G58KNLG	
点火方式	連続スパーク点火		
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ・立消え安全装置(全バーナー) ・天ぷら油過熱防止機能 ・こんろ消し忘れタイマー(約2時間) ・グリル水切れセンサー(グリルバーナー) (標準バーナー)		
付属品	取扱説明書・保証書・乾電池(単一1.5V2個)・設置工事説明書・事業所一覧		
外形寸法	高さ264mm×幅598mm×奥行494mm		
質量(本体)	17kg		

使用ガス 使用ガスグループ	都市ガス用	13 A	1時間当たりのガス消費量kW				ガス 接続	
			個別ガス消費量					
			チャオバーナー	標準バーナー	小バーナー	グリル	全点火時 ガス消費量	
			4.65 { 4,000kcal/h }	2.97 { 2,550kcal/h }	1.40 { 1,200kcal/h }	1.98 { 1,700kcal/h }	10.5 { 9,000kcal/h }	Rc1/2 { メネジ }
		12 A	4.30 { 3,700kcal/h }	2.79 { 2,400kcal/h }	1.28 { 1,100kcal/h }	1.86 { 1,600kcal/h }	9.77 { 8,400kcal/h }	R1/2 { オネジ }

本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますがご了承ください。

3 点検・お手入れ、他 メモ

3 点検・お手入れ、他 保証書

型 式 名	C3G58KNRG C3G58KNLGL	保 証 書	
品 名	HR-A463-HR HR-A463-HL	ガスビルトインコンロ	
<p>上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用として、ご使用になる場合本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、下記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスが無料修理致します。</p> <p>2. 保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。</p> <p>3. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p>4. ご贈答品で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、もよりの東京ガスにご相談ください。</p> <p>5. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)</p> <p>6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。</p> <p>7. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。</p> <p>(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。</p> <p>(ロ) お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。</p> <p>(ハ) 火災、塩害、地震、風水害、煤煙、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入およびその他の天災、地震による故障および損傷。</p> <p>(ニ) 工事説明書および取扱説明書等に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障および損傷。</p> <p>(ホ) 業務用の場所等（喫茶店、飲食店など）でご使用になられた場合。</p> <p>(ヘ) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。</p> <p>(ト) 塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。</p> <p>(チ) 機器に表示してあるガス（ガスグループ）以外のガス（ガスグループ）で使用された場合。</p> <p>(リ) 本書の提示がない場合。</p> <p>(ヌ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。</p> <p>(ル) 消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。</p> <p>(ラ) ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調整の場合。</p>			
保 証 期 間	お買い上げ	年 月 日	から 1 年間
販 売 店 名			扱 者 印
住 所			
電 話 番 号			
東京ガス株式会社		東京都港区海岸1丁目5番20号 電話 03 (3433) 2111	

- お客様へ
- この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
 - 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
 - この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

	年 月	修 理 内 容	サービス員 [㊞]
修理記録			

取扱説明書

HR-A463-HL C3G58KNLGL
HR-A463-HR C3G58KNRG

110520200032
110520200033

13

14

01

点検・お手入れ、他